

# TOYAMA Volley Ball Association

# News

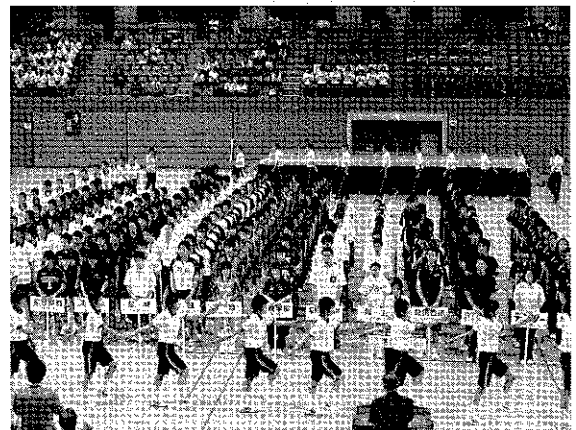
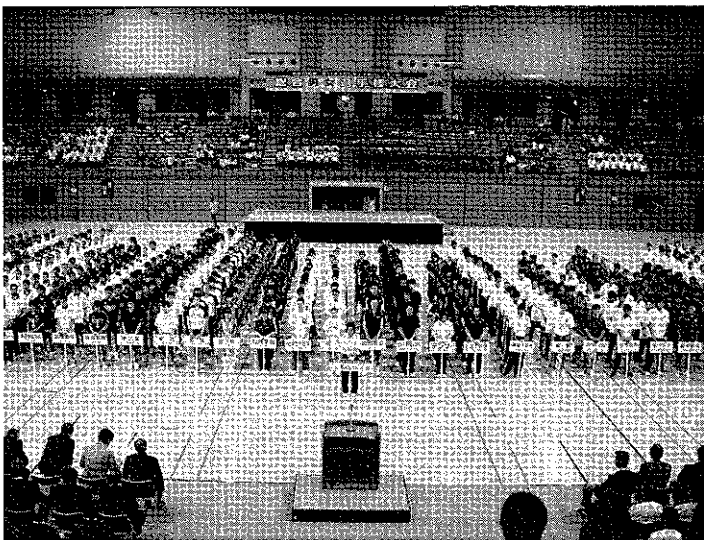
平成19年11月 発行 / 富山県バレーボール協会  
TEL/FAX 076-431-9301  
E-mail toyama-v@pl.coranet.or.jp  
http://www1.coranet.or.jp/toyama-v/

## 第57回 中部日本総合6人制バレーボール

# 総合男女選手権大会

2007.7.14(土)～16(祝)

会場 / 富山県西部体育センター  
南砺市福野体育館



中部日本六人制バレーボール

総合男女選手権大会を終えて

砺波市バレーボール協会理事長 野原 修

7月14日(土)～16日(月)にかけて、中部日本バレーボール連合、北信越バレーボール連盟のご協力で開催することが出来ました。

大会は、富山県西部体育センターと南砺市福野体育館の二会場で開催され、開会式では、はつらつとした高校生の入場行進に少し感動を覚えました。また、各会場では熱戦が繰り広げられ、中でも少年女子の富山第一高校は初優勝という輝かしい成績をおさめることが出来ました。一般女子のKUROBEアクアフェアリーズも準優勝を果たし、両チームの今後の活躍が期待されます。

大会運営面では、関係各位にいろいろとご心配、ご迷惑をおかけしましたが、無事終了することができましたこと深く感謝申し上げます。色々と反省点がありますが、今後の大会運営に役立てたいと思います。

そして、忘れられない出来事として、16日の最終日に中越沖地震が発生したことです。幸いなことに会場には大きな被害はありませんでしたが、今後各大会での危機管理マニュアルを作成しなければならぬと感じました。

# 全国大会準優勝おめでとう！ サントリーカップ 第27回全日本バレーボール小学生大会

二十五年度にして掴んだ念願の夢

成美バレーボールクラブ（女子）

サントリーカップに先駆け、今年三月末全国スボ少交流大会では、ベスト8をかけた試合で惜しくも負けた事が子供達にいい経験になりました。サントリーカップ全国大会一日目の開会式は大変大きな東京体育館での入場行進、少し緊張気味な子供達でしたがとても素晴らしい開会式でした。二日目からの予選は町田市立体育館で長崎、島根に連勝し、シールド権をかけた試合では宮城を八点、九点で下し、この日一番集中できました。

三日目は、稲城市立体育館、冷房がない暑い会場でした。ワンプレーごとに汗が出る状態での試合でした。一試合目山形戦一セット目十点で抑え二セット目はミスが多く十八点で落とし三セット目は十三点で勝利。ここにきて一番苦しかった試合でした。次に岡山戦十二点、十一点で勝ち、いよいよ目標の決勝トーナメント戦進出をかけた試合は、香川戦でした。下見の結果、香川は強く感じられ苦しい試合になるかと思いましたが、終わってみれば十一、九点の圧勝で、ベスト八に入る事ができました。

最終日は東京体育館での決勝トーナメント埼玉との試合は、不思議なくらい皆リラックスした試合が出来、十五点、十六点で勝ち、準決勝は石川との試合です。このチームとは何度も練習試合をし、負ける事が多かったチームですが、自分達のバレーが出て十九点、十七点の接戦で勝ちました。とうとう決勝戦に進む事が出来、信じられない気持ちでいっぱいになりました。こんな自分達がセンターコートで本場にいいのかなと思えました。二十一年前富山の水橋大成が準優勝しています。私は、子供達に「富山の歴史を自分達で変えよう、優勝をめざそ

う」と声をかけましたが、自分の心の中では「惨めな負け方をするのはいやだなあ」と思っていました。相手の立会は、速攻バレー三人攻撃で完成され、こんなチームとは初めての対戦でした。序盤から立会の試合ペースでブロックが全くなりませんでした。こんなチームともしっかり練習試合をしていけば良かったと思えました。二セット目は十九点まで粘り落としたので、「次のセットは何とかなるかなあ」とかすかな希望がわいてきました。立会は成美エースの牧田春奈に四人ブロックがつかまりましたが、春奈は逃げずおそれずアタックを打ち続けました。みんなも拾って拾ってつないで大変ながんばりでした。試合終了の吹笛がなり二十二対二十で惜しくも負けました。子供達の目からは涙があふれ、悔しい涙で顔がクシャクシャなっていました。私は子供達の頭をなでながら涙をこらえる事が出来ました。こんなにがんばった子供達を指導する事ができてうれしい気持ちで一杯でした。初出場決勝戦までこれるなんて本当に感激でした。子供達がこんなに強いなんて私もびっくりでした。ここまで出来たのは二十五年間成美と交流して下さったチーム、監督、OGのおかげです。そして、何よりも保護者の方々のご理解あるご協力のおかげだと感謝しております。本当にありがとうございます。これから私達はいろんな人達に全国大会での経験を話し、こつこつと努力を続けていけば夢はきっとかなえられるという事を伝えていきたいと思っています。

## 平バレーボールスポーツ少年団（男子） 監督 高田 一敏

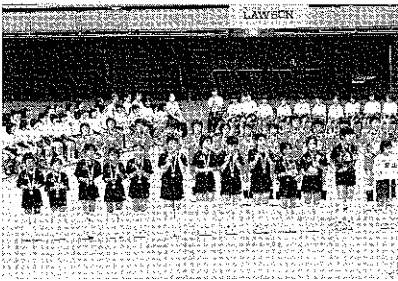
創部十一年目、決勝戦進出五度目にして、私たち平バレーボールスポーツ少年団は、全国大会への切符を手に入れました。

例年はない暖冬で、冬季はスキーに専念している選手たちも、今年は少し違いました。スキー大会で忙しい三月中旬から、練習試合を組みました。しかしながら、冬季の練習不足は否めず、砺波地区新人戦では、最下位という苦杯をなめる結果でした。

それからの毎週末は、父母会の協力を得て、県内外へ遠征、また遠征の三ヶ月間でした。そうして迎えた六月二十九日、サントリーカップ予選の前日、それまでの練習試合の成果を胸に、選手たちはすでに決戦の地である黒部にいました。万全の体勢を整え、予選から決勝まですべてストレートで勝ち進み、初優勝の栄冠を手に入れました。

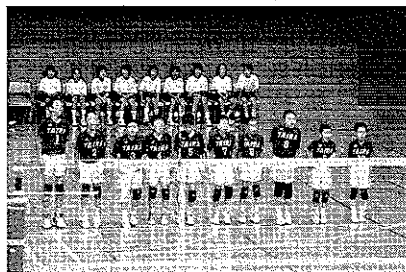
八月十四日、東京体育館で行われたサントリーカップ開会式では、選手十名が富山県代表として堂々と胸を張り、元気に入場行進をしました。趣向を凝らしたすばらしい開会式に、これが全国大会だと感動を覚えました。また、越川（全日本）、大林（元全日本）選手らの激励の言葉に、改めて地方大会との違いを感じました。

子どもたちと寝食をともにした、三日間の選手村の生活では、いろいろ大変な経験をしました。食事を取るにも長蛇の列ができ、なかなか食べる事ができませんでした。それに、個室であった選手部の部屋の掃除も苦労しました。けれども、子どもたちは、全国の選手たちと、仲良く話しをして友達になることで、楽しい選手村生活を送れたのではないかと



と思います。

八月十五日予選一日目  
第一戦、栃木県代表「芳賀北」にストレートで快勝し、続く第二戦大分県代表「日田FKC」にはフルセットの末に惜敗しました。続く、八月十六日予選二日目第一戦岐阜県代表「岐南セレージャ」、第二戦目長崎県代表「西北」には、ともにストレートで敗戦しました。しかし、選手たちは、緊張することも臆することもなく、自分たちの力を十分に発揮し、平バレーボールスポーツ少年団のモットーである「全員バレー」を貫きました。



二日間の戦いを終え、全国大会のレベルの高さを知り、大変勉強になりました。特に、ベスト8が激突する三日目の決勝トーナメントでは、どのチームの戦いも好ゲームで、すばらしいバレーを見せていただきました。そして、富山県女子代表の「成美」が決勝に駒を進め、センターコート横で応援したこともいい思い出です。  
一度全国に行くと、「もう一度」という思いが強くなります。ひとつ勝てば、さらに上へと目標も高くなります。それを果たすためにも、また一から勉強し、子どもたちとともに全国大会を目指したいと思います。

## 日本スポーツマスターズ2007

### びわこ大会にかけた想い

黒部クラブ 監督 小柳 一晃

「よし、いけるぞー」「やったー(勝ったー)」「ベスト16だ!」。チーム、ベンチスタッフ全員がひとつになった勝利でした。

今回、2007年9月15日から開催された日本



スポーツマスターズ2007びわこ大会に富山県代表として出場しました。予選リーグでは、初出場の気負いからか動きも硬く、初戦は山口代表に敗れましたが、敗者復活戦で長崎代表にストレート勝ちし、ようやく肩の力が取れました。

決勝トーナメントに入ると、試合が進むにつれ、チームにリズムと勢いが出てきました。1回戦は鳥取代表にストレート勝ち、2回戦は香川代表に1セット目は先取されるものの、2、3セットを取り、見事逆転勝利を収めました。翌日の3回戦は、三重県代表に2セット目、ジュースまで粘るものの力尽き、惜しくもベスト8は逃しました。

2006年の県予選での敗退という悔しさがあったからこそ、この大会にかけた想いがチーム全員強く、本大会でのこの結果に繋がったと思います。また、週1回の練習ですが、メンバーのほとんどが休むことなく、常にチーム練習ができたことも大きな自信になっていました。

こういう私たちがサポートしてくださった黒部市並びに、黒部市バレーボール協会、その他関係者の皆様に深く感謝いたします。

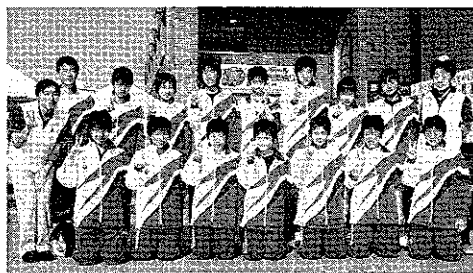
本当にバレーを続けてきてよかったという気持ちと、まだまだやれるという自信を得た大会でした。この気持ちを大切にして、来年はもう一度チャレンジャーとして大会に望みたいと思います。更なる「おじさんパワー全開」で来年も頑張ります。

## ☆第62回国民体育大会に出場して

少年女子 監督 稲積 信一

10月5日より秋田県横手市で行われた第62回国民体育大会に参加させて頂きました。富山選抜は富山第一高校(9名) 氷見高校(1名) 高岡龍谷高校(2名) 高岡商業高校(2名) の4チームからの選手でスタートしました。1回戦の相手は滋賀県で富山県とよく似たチームとの対戦となりました。大会直前の怪我によるアクシデントのため選手に不安感があったと思われる状態で、それを取り除いてやれずに試合に入ってしまった、相手の粘り強いレシーブや速い攻撃に次第にゲームの主導権を奪われました。富山県チームも相手に負けない粘り強いレシーブからの攻撃で、徐々にリズムにも乗ったが、時すでに遅く敗退してしまいました。

大会・遠征には、スタッフとして選抜されている高校の監督の先生方も同行してもらい、遠征や合宿等で全国の強豪県と練習試合など行うことも出来たが、期待に応えられないと思います。また、沢山の応援をいただいたことにも感謝したいと思います。



### 2007全国大会出場チーム

- ☆全日本6人制実業団男女優勝大会  
男子 富山工業(北信越予選大会三連)
- ☆全日本9人制実業団  
男子 北陸電力
- ☆全日本6人制クラブカップ男女選手権大会  
男子 TTC  
女子 KUROBE CHERRY
- ☆全日本9人制クラブカップ男女選手権大会  
男子 湘川FVC  
女子 Brave Angels
- ☆日本スポーツマスターズ2007滋賀県大会  
男子 黒部クラブ  
女子 富山市マスターズ選抜
- ☆全国社会人9人制バレーボール男女優勝大会  
男子 YKK  
女子 杏
- ☆全国マサさんバレーボール大会  
八幡クラブ(富山市)
- ☆第18回全日本ビーチバレー選手権大会  
男子 伊藤達也・深石 圭  
女子 吉田知佳子・佐野保子
- ☆全国高等学校総合体育大会(インターハイ)  
男子 富山第一高等学校  
女子 富山第一高等学校
- ☆全国家庭婦人バレーボールいそじ大会  
TOYAMA(富山市)
- ☆全国家庭婦人バレーボールことぶき大会  
高岡(高岡市)
- ☆第62回国民体育大会  
少年女子 富山県選抜

# 中部日本6人制総合選手権大会

高校女子の部 優勝

富山第一高等学校

去年の中部日本大会は二回戦敗退というとても悔しい結果でした。今年のチームになってから、先輩方を上回る成績を残していなかったため、今度こそと全員が毎日必死に練習しました。

一日目は、二試合とも危なげなく勝つことが出来ました。二日目の準決勝の相手は、静岡県の浜北西。しかし、相手の試合を観戦するとその強さにチーム全員が圧倒されるほどでした。準決勝、最初は昨日見たときのイメージがあり緊張から富一らしいコンビバレーがあまり出来ませんでした。しかし、中盤になると次々とレシーブが上がり段々と私たちのリズムを作っていくことが出来、25対22と競りながら一セット目を先取しました。二セット目、一人一人が必死にボールを追いかけ、全員で一点一点取っていくことが出来ジュースにもつれ込みましたが、32対30と大接戦の末勝利しました。続く決勝戦の相手は長野県の松商学園でした。私たちは準決勝の勢いで勝つことが出来、先輩方を越えることが出来ました。今までこの大会が一番良い試合が出来た日だったと思います。



地元開催での初優勝だったので、より一層嬉しかったです。そして、先輩方が果たせなかった優勝という目標を達成しました。このような結果を出せたのも、先生方のご指導や、家族の支え、地元役員の方々の応援があったからだと思います。これからも感謝の気持ちを忘れず、この体験をいろいろな場で活かしていきたいと思えます。

## JOC第21回全国都道府県対抗中学バレーボール大会 富山県選抜チーム

- |        |                              |
|--------|------------------------------|
| 総監督    | 池淵 直人 (県中体連バレーボール専門部委員長 芝園中) |
| 総務     | 剣田 正美 (富山南部中)                |
| 男子監督   | 朝倉 浩一 (舟見中)                  |
| コーチ    | 中野 文男 (大門中)                  |
| マネージャー | 松尾 淳一 (新庄中)                  |
| A・コーチ  | 山崎 洋 (平中)                    |
| 女子監督   | 永原 義久 (鷹施中)                  |
| コーチ    | 入部 晃純 (奥田中)                  |
| マネージャー | 角 崇史 (西條中)                   |
| A・コーチ  | 尾島 賢治 (富山西部中)                |
| 選手     | (数字は背番号、○は主将)                |

男女共に  
ベスト8入りを目指します！  
応援よろしく  
お願いします！

### 男子選手

選手氏名	学校名	学年
① 森 康介	桜井中	3
2 館 宏志郎	富北部中	3
3 國分真之介	芳野中	3
4 養口世将	福野中	3
5 久保 柊人	平中	3
6 野宇大介	上平中	3
7 山本 侑弥	庄川中	3
8 長田 淳平	戸出中	3
9 中島 建	宇奈月中	3
10 山崎 繁人	平中	3
11 西田 亮輔	庄川中	3
12 山本 稜	蟹谷中	3

### 女子選手

選手氏名	学校名	学年
① 須河真生子	奥田中	3
2 岡本 真子	奥田中	3
3 水野 早葉	富北部中	3
4 小坂真由美	富北部中	3
5 寺島 梨香	桜井中	3
6 山田 楓	桜井中	3
7 草野 静奈	岩瀬中	3
8 板倉 成美	和合中	3
9 藤田 遥	和合中	3
10 藤井圭永子	志貴野中	3
11 山崎 里美	蟹谷中	3
12 愛宕 香里	小杉南中	2

平成19年12月24日

開会式 (大阪市中央体育館)

予選リーグ 男子：大阪市中央体育館

女子：大阪府立体育会館

平成19年12月25日

女子予選・決勝トーナメント 大阪府立体育会館

男子予選 大阪市立中央体育館

平成19年12月26日

決勝トーナメント 女子2～3回戦 貝塚市立総合体育館

男子1～3回戦 大阪府立体育会館

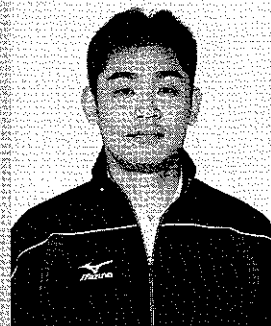
平成19年12月27日

準決勝・決勝 大阪府立体育会館

# KUROBEアクアフェアリーズ

## 新監督紹介

根本 勝司



### ◆プロフィール

家族：妻・長男・次男の4人家族

学歴：東北学院大学

職歴：平成3年から平成17年まで9人制女子実業団の監督及び

福島県国体選抜チーム監督。

福島県総合スポーツクラブ、バレー担当、富山県バレーボール協会強化担当。

### ◆新監督から一言

15時に試合終了のホイッスル。その後、16時には大阪の会場を後にし、郷里の福島へとチームバスを走らせ着いたのは27時。運転手は自分1人であり、着いた日は月曜日・・・。察するとおり当然のごとく5時間後に出勤することとなる。選手も自分も辛く厳しい活動状況での日々であった。

なぜそんな活動状況で選手も自分もバレーボールを続けていたのか疑問であった。しかし、答えは一言「好きだから」。単純だが奥の深い一言である。選手は最も得意とする分野で自分を活かしたい。監督としてはその得意とする分野（バレーボール）での更なるレベルを向上させる手助けをし、最終目標であるチーム勝利を目指す。その実績となる試合の中で、それまで出来なかったプレー（技術）が1つ、また1つと出来ていく。いつの間にか後輩を教える一人前の選手と成長する。この瞬間を見るのがたまらない。試合に勝つこともまた格別！そんな監督中毒に侵された自分にこの「アクアフェアリーズ」から監督としての打診を受けた。

およそ2年半ぶりに現場に復帰することとなったが、これまでの指導方針に変わりはなく「カッコイイ選手」＝「カッコイイチーム」となってほしい。観ていて「カッコイイ」と思うのは「上手い、強い」が最低限の条件であると考えている。広い意味でカッコイイ選手になる手助けをしたい。

黒部市民、富山県民のみならず全国各地のたくさんの方々から応援されるチーム作りを目指します。今後とも「KUROBEアクアフェアリーズ」をご支援下さい。

**molten**  
For the real game

Soft Touch  
Synthetic Leather  
**molten**  
V.V.SU1

**molten**

*For the real game*

「プレーヤーの技術や意志が100%発揮される時、スポーツは本物になる」  
私たちモルテン・ブランドは、この信念をもとに  
世界に類のないボールと  
スポーツエキップメント・メーカーとして  
つねに完璧な製品づくりを目指しています。

株式会社 **モルテン** 東京都本社 〒130-0003 東京都墨田区横川15丁目5-7 [www.molten.co.jp](http://www.molten.co.jp)

# 北信越ソフトバレーボール大会

開催日…平成19年10月20日・21日(土・日)  
会場…山田総合体育センター他

平成19年10月20日(土)～21日(日)、山田総合体育センターをメイン会場として「平成19年度ソフトバレー・北信越フェスティバル富山大会」を開催しました。

北信越5県から、トリム・ファミリー・小学生・レディース・メンズの5種別、各12チーム計60チーム、総勢450名の選手が参加し熱戦を繰り広げました。

競技役員には約100名のボランティアが大会運営に携わり、中でも山田中学校全校生徒と城山中学校男女バレー部員が記録員として協力してくれました。

また、大会初日各会場では、「能登半島地震災害」と「新潟県中越沖地震災害」の募金箱が設けられ、集まった善意の義援金は、閉会式で石川県と新潟県に手渡されました。



## 表彰

□ 北信越バレーボール連盟

永生 眞成 氏

□ 富山県生涯スポーツ功労賞

荒木 修身 氏

(富山県ソフトバレーボール連盟副会長)

## お知らせ

□ 2007/08 V・プレミアリーグ

男子氷見大会

開催日…平成20年1月26日(土)・27日(日)

開催地…氷見市ふれあいスポーツセンター

□ 2007/08 V・プレミアリーグ

女子魚津市大会・富山市大会

開催日…平成20年3月15日(土)・16日(日)

開催地…魚津市ありそドーム(土曜日)

富山市総合体育館(日曜日)

□ 2007/08 V・チャレンジリーグ

女子黒部大会

開催日…平成20年3月1日(土)・2日(日)

開催地…黒部市総合体育センター

皆さん応援お願いします!

社団法人 全国旅行業協会 会員  
財団法人 富山コンベンションビューロー 賛助会員  
富山スポーツ・コンベンション実行委員会

各種スポーツ大会の  
宿泊・交通・お弁当の  
手配はお任せ下さい

富山県知事登録旅行業 第3-226号

有限  
会社

# タイセイツアース

〒939-2306 富山県富山市八尾町井田5516-1  
TEL:076-455-8211 FAX:076-455-8222  
e-mail: taiseico@topaz.ocn.ne.jp  
ホームページURL: <http://www.cty8.com/taiseico/taisei.html>